



2016年8月8日

報道関係者各位

慶應義塾大学

奨学基金を積み増し、国内最大規模の240億円に —給付型奨学金一人あたり平均50万円へ拡充—

慶應義塾大学では、返済不要の給付型奨学金の充実と制度の拡充を重要な施策の柱として、財源の確保に努めてきました。今年度より、将来研究分野を先導し、グローバルに活躍できる若手人材育成を目的とした大学院生向けの「研究のすゝめ奨学金」を創設しました（年間支給総額1億500万円）。このたびさらに奨学基金の大幅な積み増しを行い、奨学金の基金としては国内最大規模となる約240億円を運用することになりました。基金の運用益はすべて返済不要の給付型奨学金として学生に給付されます。

今回の積み増しを受け、学部生向けの給付型奨学金、特に「慶應義塾大学給費奨学金」を拡充します。これにより、学部生対象の給付型奨学金の採用予定者は約1,300名、採用者平均給付金額は50万円となります。

今後も、勉学に邁進する優秀な学生が経済的困窮を理由として修学を諦めることのないよう、奨学金制度を整備し、国内外で活躍できる人材を育成していきます。

1. 「慶應義塾大学給費奨学金」について

- (1) 対象 : 全ての学部の学生（2年生以上の正規学生）
（経済的に就学困難であると認められ、勉学の意欲を持ち、成績・人物ともに特に優れ、将来成業の見込みのある者）
- (2) 支給額 : <従来>20万円（一人あたり年額、留学生は15～45万円）
<増額後>50万円（一人あたり年額、留学生も含め一律）
- (3) 採用人数 : 310名程度

2. 慶應義塾大学独自の給付型奨学金の特色

- (1) 奨学金給付を目的とする国内最大規模の基金残高：約240億円
（運用益はすべて慶應義塾大学独自の給付型奨学金に使用される）
- (2) 奨学金の種類：約120種類
- (3) 学部生対象の給付型奨学金
採用予定者約1,300名、採用者平均給付金額50万円
- (4) 「慶應義塾大学給費奨学金」以外の奨学金の例
 - ・「学問のすゝめ奨学金」：首都圏以外からの学部入学希望者に対する経済的サポート（入学前予約型）
 - ・「研究のすゝめ奨学金」：大学院における若手研究者の育成に寄与
 - ・「未来先導国際奨学金」：国際的に活躍が期待できる特に優秀な留学生をサポート
 - ・「三田会奨学金」「慶應義塾維持会奨学金」：卒業生や維持会会員からの支援により、学業優秀かつ経済的な理由で就学が困難な学生をサポート

*ご取材の際には、事前に下記までご一報下さいようお願い申し上げます。

*本資料は文部科学記者会、各社社会部、教育部等に送信しております。

お問い合わせ先：慶應義塾広報室（平良）

TEL : 03-5427-1541 FAX : 03-5441-7640

Email : m-koho@adst.keio.ac.jp <http://www.keio.ac.jp/>

(※8/10～17は夏季休業期間のため閉室させていただいております)